

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討；Propensity score matching 解析を用いる

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科

【研究責任者】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 助教 坂元克考

【研究代表者】

九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野 教授 中村雅史

【研究の目的】

過去に受診された脾臓温存もしくは脾臓合併切除を伴う腹腔鏡下尾側膵切除術を受けた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、腹腔鏡下尾側膵切除術に関する手術難度や術後合併症などについて評価する研究を行うことといたしました。この研究は腹腔鏡下尾側膵切除術を受ける患者さんにおける治療成績向上を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）1993年1月1日から2018年12月31日までに腹腔鏡下尾側膵切除術を施行した患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、術式、手術所見、術後合併症等

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。  
対象となる患者さんのデータは、匿名化された状態で、インターネット上で登録

する全国データ（National Clinical Database, NCD データ）を九州大学が登録データベースシステムから受け取る形で行われます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**<試料・情報の管理責任者>**

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327